

紙屋小学校だより

小林市立紙屋小学校 No.4

令和4年 7月21日 発行



校長 佐田信真



6月28日宮日新聞「若い目」掲載

ぼくは算数より国語の方が大切だと思います。理由は五つあります。

一つ目は、大人になったら文章をたくさん書いて絵本や小説などを送って子どもたちをよるこぼせたいからです。二つ目は、はがきや手紙でいっぱい文章を書くことが多くなるからです。三つ目は、国語で漢字やその意味を習っていけばプリントやテストの問題にすぐに答えられるからです。四つ目は、地図を読むことができるからです。前にぼくは、道にまよって地図を見て、ちやうど漢字を習っていたので、目的地につくことができました。五つ目は、言葉や漢字を分かっていると本や小説がすぐ読めたり作文をすばやく書けたりするからです。

このように、国語はいろいろなことができるから、国語が大切だと思います。

国語こそ大切だ

四年 内山 真幸

国語の勉強の大切さについて、自分の思いや生活に生かせることを様々な例を挙げて、分かりやすく伝えている作文です。

大人になって素敵な絵本や小説を書いてくれる作家になれるといいですね。

七夕飾りに願いを込めて・・・

6月27日(月)に1・2年生の七夕作りがありました。当日は、たらちね会の方々から1年かけて手作りされたたくさんの飾りを持ってこられ、子どもたちと一緒に飾り付けをしていただきました。ありがとうございました。子どもたちは素



敵な飾りと願い事を書いた短冊をたくさん竹にくくりつけていました。子どもたちの願い事には「〇〇がほしい」「将来〇〇になりたい」「〇〇が上手になりますように」という願いが書かれてありました。みなさんの願い事が叶うといいですね!

赤白決定集会を開きました!

7月6日(水)に、今年の運動会の赤白決定をしました。今年には新型コロナウイルス感染防止対策のため、校長室からの中継で行いました。進行は健康委員会のみなさんが頑張ってくれました。様子はまるでテレビ中継のようでした。

今年の団長は、赤団が6年生の濱崎瑛志郎さん、白団が6年生の宗方嘉音さんです。二人の団長さん、優勝目指して力を発揮してください。



みんながんばりました!

6月25日～26日に綾町で開催された、第42回全日本バレーボール小学生大会宮崎県予選に、紙屋排球女子チームと男子チームが出場しました。

女子チームは、熱戦を繰り広げましたが残念ながら予選リーグで敗退しました。しかし、必死にプレーする姿は見る人たちに感動を与えてくれました。

男子チームは予選を勝ち上がり決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメントでは、他のチームを寄せ付けない強さで見事優勝を果たしました。今度は、宮崎県の代表として、東京で行われる全国大会に出場します。男子チームの皆さんの健闘を祈っています。頑張ってください!



8月の主な行事予定

- 10日(水)～16日(火) 学校閉庁期間
- 25日(木) 1学期後半開始 城攻め踊り講話
- 28日(日) PTA奉仕作業
- 29日(月) 城攻め踊り練習
- 31日(水) 小中合同あいさつ運動 避難訓練(火災想定) 城攻め踊り練習



学校閉庁期間中の緊急の連絡先は、原則として小林市教育委員会学校教育課(23-0424)となります。ご理解とご協力をお願いします。

8月の月目標

～身の回りの整理整頓をする～